

World Watching 24

ワールド・ウォッチング

港湾の地域連携 バルト海港湾機構 Baltic Ports Organization



栢原 英郎

社団法人日本港湾協会 理事長



様々な活動がグローバル化する一方で、国際港湾協会（IAPH）や国際航路協会（PIANC）のような、世界的ないわば老舗の港湾関係の団体に加えて、近隣の港湾が連携し組織的な活動を活性化させている。

筆者は、新潟県が中心となって10年以上続いている北東アジア経済会議の運輸物流のセッションの座長をこの数年務めているが、この活動の中で興味を持ち始めたことの一つは、日本海沿岸の諸港が連携して、例えば「環日本海港湾機構」のようなものを作ったとしたら、何か意義のあることができるであろうかということである。そこで、その先進事例とも言うべきバルト海沿岸諸港が設けている「バルト海港湾機構（Baltic Ports Organization：BPO）」について調べてみることにした。今回の「ワールドウォッチング21」では、この組織についてお伝えすることとした。



バルト海港湾機構の概要

BPOは、ベルリンの壁崩壊をきっかけに、バルト海地域としての一体化の機運の高まりと、その沿岸諸港が西側諸国と東側諸国の物流の効率的かつ永続的なゲートウェイであることを意識したことから、1991年10月10日に、コペンハーゲン港（デンマーク）、タリン港（エストニア）、ロストック港（ドイツ）の3港によって設

立された。

設立の基本的な理念は、①バルト海諸港間の旅客・貨物の交流を活性化することによって沿岸諸国の経済の発展を促すため、バルト海における海上輸送の急速かつ合理的な開発が必要であること、②開発、投資並びに訓練に関して相互に協力することが有意義であること、③港湾の管理運営に関する情報やノウハウの交換と、諸国間の連絡のためのネットワークの構築と維持が必要であることなどであった。

現在のメンバーは、バルト海沿岸の59港の正会員と友好会員としてマリーナと大学の研究センターそれぞれひとつを加え61港・組織である。1998年からの会長はデンマークのコペンハーゲン港の局長（Port Director）Henning Hummelose氏である。事務局は設立以来、コペンハーゲン港が勤めているが、今年の総会（5月30-31日にストックホルムで開催）でストックホルム港が引き継ぐこととなっている。

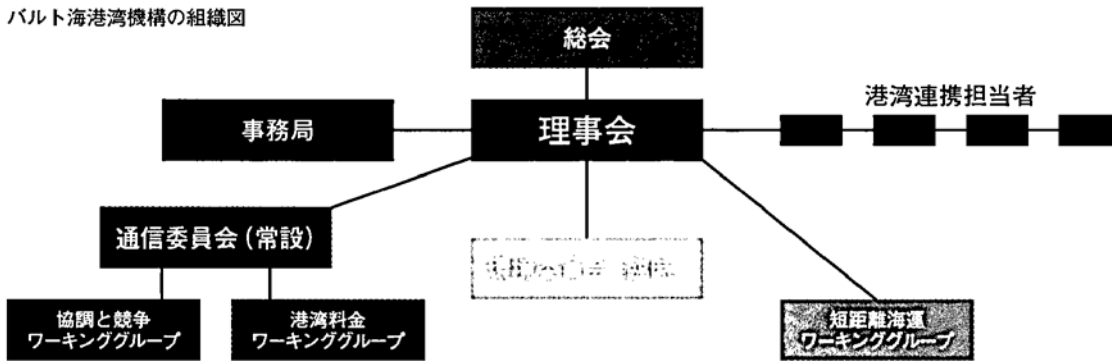
通常の活動としては、1992年以来2年に一度の総会のほか、次のような常設の委員会とワーキンググループを設け、研究を続けている。

1998年以来：

通信委員会（常設）、環境委員会（臨時）、教育訓練委員会（2000年まで）

2001年以来：

短距離海運（Short Sea Shipping）ワーキンググループ



協調と競争 (Co-operation and competition) ワーキンググループ
 港湾料金 (Port pricing) ワーキンググループ
 なお、常設のCommunication Committeeの役割は、諸港間の情報通信システムを構築すること、統計データの開発と取得、分析などであるが、協調と競争、港湾料金の二つのWGはこの委員会に属している。

ITを活用した活動も盛んである。ちなみにBPOのホームページ (<http://www.bpoports.com>) を開けてみると、組織の概要などの一般的な情報や、各港へのリンクなどが充実している。また、バルト海の氷結に状況などが情報として提供されており、一つの海を共通の活動域とする港間の組織の働きの姿を具体的にみることができる。

なお、会員である59港の港湾活動の現況は、総取扱貨物量は4億5,000万トン、コンテナは3百万TEUを扱っており、8,000万人の旅客の乗降がある。

この調査の過程でポーランドのグダンスク、グディニアの二つの港湾を訪ねる機会があった。この両港は、ストックホルム港など3港とともに直ちにこの構想に賛同して参画した準創立メンバーでもある。東欧の港湾について報告されることは少ないので、特に珍しいことがあるわけではないが、次回は簡単にその報告をすることとしたい。



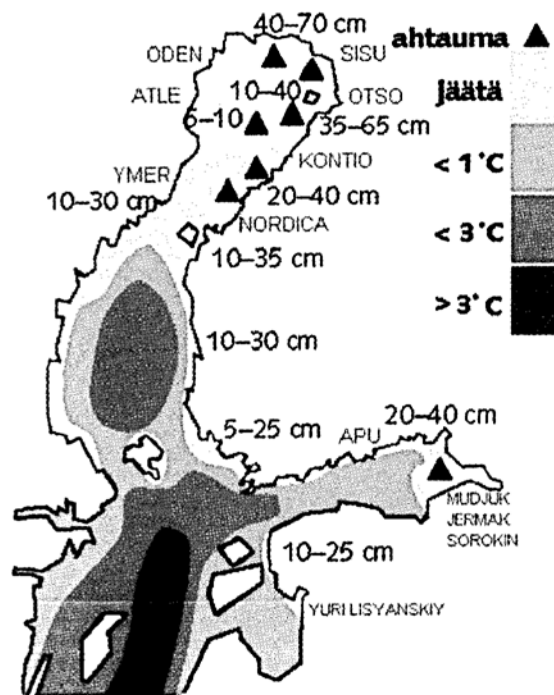
多様で活発な活動

設立の理念を受けて、機構の目的として次の三つが掲げられている。

1. バルト海地域の海上輸送の競争力を改善すること。(BPOは現在、「From Road to Sea」のスローガンの下、モーダルシフトに取り組んでいる。)
2. バルト海地域の港湾の政策や立場を、関係する国際的な組織に浸透させること
3. 様々な国際間の協約等を関係港が熟知し、共同歩調を取れるよう、それらの協約等と港湾産業との諸問題を研究すること

この目的のもと、これまでBPOは数多くの国際会議を開催している。昨年の11月のBPOに関連する行事を見ても、Intermodal 2001, Hamburg (11月13-15日 ハンブルグ港)、Baltic Maritime Markets Outlook, Helsinki (11月15日 ヘルシンキ港)、Maritime Oil Spills in Ice and Cold/Arctic Conditions (11月20-22日 同) が紹介されており、2002年の公式行事としては次のものが予定されている。

- ・ Baltic-Trans-Port (第一回 Baltic Ports International Fair) 5月14-16日 グダンスク港
- ・ 総会 5月30-31日 スtockホルム港
- ・ Focus on the Clean Transport in the Baltic (第二回 BPO Conference on Transport and Environment) 2002年秋 グダンスク港



バルト海の結氷状況を伝えるBPOホームページ